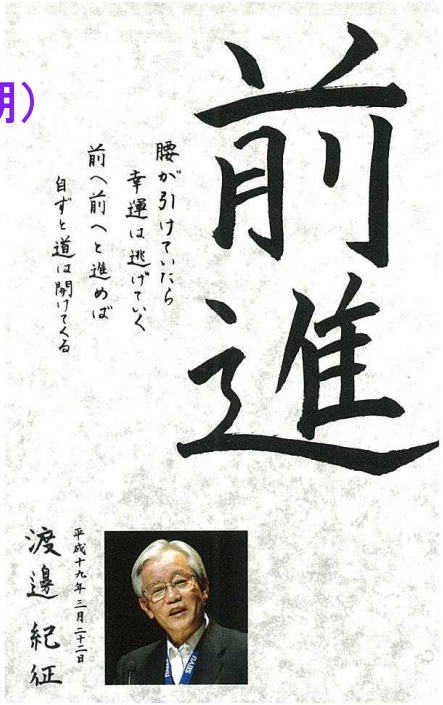
# 紫芳会だより　～輝く先輩達～

No.24
2014.8.15.発行

紫芳会　新理事長

# 渡邊　紀征氏（高11期）




1963年　一橋大学卒業　野村證券入社
1968年　西友ストア（現西友入社）
1996年　ファミリーマート副社長
1997年　西友社長
2002年　西友会長
2007年　西友退社

（公職等）
1997年　経団連　常任理事
2002年　日本チェーンストア会長
2002年　日本小売業協会副会長
（趣味等）
囲碁・ゴルフ・クラッシック鑑賞・旅行

## 若き後輩達への二つの助言

半世紀ほど社会経験をした先輩として、若き後輩の皆さんに、これからの人生に役立つ二つの助言をしたいと思います。

**人生逃げるな、『前進』せよ。**

お相撲さんは立合いで逃げたり退いたりして勝っても、親方からひどく叱られるそうです。はたかれ、いなされて負けることがあっても前へ前へと突き進むことが、大成するための必須条件とのことです。

人生は嫌なこと、つらいことにしばしば出会います。そんな時、人はついくじけたり、逃げ出したりしたくなるものです。

しかし、勇気を奮いそれに立ち向かい闘うことが、人を大きく成長させるのです。私は立高生の頃、おとなしく気弱な少年でした。しかし、社会の荒波が私を鍛えてくれました。

「嫌な仕事から先に片付ける」、「難しい仕事でも果敢に挑戦する」など、『前進』の精神で目の前の題に取り組むように努めました。正直なところ、時に逃げ出したくなることもありましたが、勇気を奮って課題に取り組みました。すると、逃げていたら見つかるはずのない解決の糸口が見えてきて、ほとんどのことは見事解決することができたのです。

私はいつからか『前進』を座右の銘として今日まで実践に努めています。

皆さんにもぜひ『前進』することをお奨めいたします。

**毎日の積み重ねが『違い』をつくる。**

「三日坊主」という言葉がありますが、大きな目標を立てたものの、継続できずにすぐ止めてしまうことがよくありますね。私もそんな「三日坊主」の常連でした。そんな時、ある尊敬する先輩から貴重助言をいただきました。

「小さなことでも毎日つみ重ねて継続することが肝要だ」、「短期間では明らかにはならないが、年月を経るうちにその『違い』は歴然となる」とのことです。「うさぎとカメ」の話に似ていますね。

助言をいただき、私はいくつかのことを実践してきましたが、ひとつの例を紹介いたしましょう。英語があまり得意でなかった私は、これからのグローバルな時代に乗り遅れてしまうのでは、という危機感をもっていました。そこで「時事英語研究」という月刊誌をとり、辞書を引きながら2～30年間読み続けました。また、英会話の個人レッスンも10数年継続して受けました。

その結果、苦手だった英語にもある程度自信がもてるようになり、その後の外資との提携交渉等にも大いに役立ちました。

皆さんにも、小さなことでも毎日継続して実践することをお奨めいたします。